

令和6年度（2024年度）
越谷市市政モニター活動報告

越谷市市民協働部くらし安心課

「越谷市市政モニター」について

「越谷市市政モニター」は、市民の皆様に広く市政への参加を求め、市民各層の清新な声を体系的に収集し、これを施策の企画や行政の効果測定、あるいはその他行政運営上の基礎的参考資料として活用することにより、よりよい市政の実現に資するための制度です。

毎年、公募により20名の市民を募集し、市の研修会などへの参加、市の広報紙等に関する毎月のアンケート回答のほか、随時、市政へのご意見やご提案等（提言）をいただいています。

いただいた市政への提言については、関係部署へ伝え、施策の参考とさせていただいています。

この「令和6年度越谷市市政モニター活動報告」は、令和6年度市政モニター活動実績および提言の概要をまとめたものです。

目 次

1 令和6年度越谷市市政モニター活動の概要.....	1
(1) 活動実績.....	1
(2) 広報紙、テレビ広報番組、ラジオ広報番組に対するアンケート	1
2 令和6年度市政モニター提言の概要	2
(1) 提言数.....	2
(2) 部課別件数.....	2
(3) 第5次越谷市総合振興計画大綱別件数.....	3
(4) 提言集.....	4
<目標1 多様な人が交流し、参加と協働により発展するまちづくり>	6件 4
1. 公共交通を利用した広報について	4
2. 最近の自治会の現状について	4
3. ウッドデッキの飛び出し注意について	4
4. 職員の逮捕について	4
5. 職員の逮捕について2	4
6. 職員の逮捕について3	5
<目標2 みんなが健康で共生して住み続けられるまちづくり>	9件 5
7. 越谷市立病院の民営化、第三セクター化などについて	5
8. 市内各駅に高齢者・障がい者向けの椅子を設置することについて	5
9. 「児童発達支援センターぐんぐん」のあり方について	5
10. 特別支援保育の枠について	6
11. 「レイクタウン界限」と称する居場所のない子ども達について	6
12. 少子化対策について	6
13. ヤングケアラーの支援について	6
14. 切れ目のない医療と介護の連携について	7
15. 介護職員の人材確保と処遇改善について	7
<目標3 都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり>	11件 7
16. 免許返納者への支援について	7
17. 市内公園へのバスケットゴールの設置について	7
18. 外環自動車道、東北自動車道の「IC」に「越谷」を追加することについて	8
19. 東武鉄道スペーシアの新越谷駅への停車について	8
20. 道路標識の再整備について	8
21. 植え込みへのベンチ設置について	8
22. 花を活用したまちづくりについて	8
23. 東武鉄道スカイライナーの停車駅について	8
24. 高架下を利用したドッグランの設置について	9
25. 横断歩道と押しボタン信号の設置について	9

26. コミュニティバスについて	9
<目標4 持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり>	4件 10
27. 洪水対策として春日部市「地下神殿」の調圧水槽のような大型貯水槽の設置について	10
28. 他都道府県からのゴミ受入れの事業化について	10
29. 避難先へのペットの同行について	10
30. A E Dの設置箇所について	10
<目標5 魅力ある資源を活かし、都市の活力を創造するまちづくり>	3件 10
31. レイクタウン内にオーストラリア大使館や領事館を誘致することについて	10
32. 観測所等との連携について	10
33. 外資系ホテルの誘致等について	11
<目標6 みんなが主体的に学び、生きがいを持って活躍できるまちづくり>	2件 12
34. 蔵書本の有効活用について	12
35. 小中学校におけるプールの授業について	12

1 令和6年度越谷市市政モニター活動の概要

(1) 活動実績

月	内容	
令和6年 4月	委嘱式 (25日)	○参加者数 11名 ○内 容 ・委嘱状の交付 ・市長あいさつ ・市政モニター自己紹介 ・市政モニター活動概要の説明
8月	第1回研修会 「施設見学」 (5日)	○参加者数 8名 ○内 容 ・越谷市新庁舎建設事業の説明 ・新本庁舎施設見学
9月	第2回研修会 「市議会傍聴」 (10, 11日)	○参加者数 11名 ○内 容 ・事前説明 ・市議会傍聴 ・質疑応答
令和7年1月	第3回研修会 (31日)	○参加者数 12名 ○内 容 ・消費生活講座「特殊詐欺や悪質商法等について」 ・質疑応答
3月	懇談会 (28日)	○参加予定者数 12名 ○内 容 ・市長あいさつ ・市政モニター活動報告 ・1年間のモニター活動の感想や意見の発表 ・市長との懇談

(2) 広報紙、テレビ広報番組、ラジオ広報番組に対するアンケート

- ・広報こしがや(毎月)
- ・テレビ広報番組「Koshigaya Collection(こしがやコレクション)」(毎月)
- ・ラジオ広報番組「ようこそ！住みよいまち越谷へ！
～福田市長のラジオ談話室～」(毎月)

わかりやすい広報紙、テレビやラジオの広報番組作りに活かすため、広報媒体に対する感想や意見を記すアンケートを毎月行っています。提出されたアンケートは、所管する広報シテプロモーション課へ提供しています。

2 令和6年度市政モニター提言の概要

令和6年度市政モニターの皆さんから寄せられた市政への提言については、すべて市の関係部署へ伝え、施策の参考とさせていただきます。

(1) 提言数

計	
提出者数(人)	9
提言数(件)	35
延べ関係課数	24

(2) 部課別件数

担当部	件数	担当課	件数	件名
市長公室	1	広報シティプロモーション課	1	公共交通を利用した広報について
総務部	4	人事課	3	職員の逮捕について、2、3
		庁舎管理課	1	ウッドデッキの飛び出し注意について
市民協働部	3	市民活動支援課	2	最近の自治会の現状について レイクタウン内にオーストラリア大使館や領事館を誘致することについて
		くらし安心課	1	道路標識の再整備について（道路総務課と重複該当）
地域共生部	1	介護保険課	1	介護職員の人材確保と処遇改善について
子ども家庭部	4	子ども施策推進課	1	少子化対策について
		子ども福祉課	1	「児童発達支援センターぐんぐん」のあり方について
		保育入所課	1	特別支援保育の枠について
		青少年課	1	「レイクタウン界限」と称する居場所のない子ども達について
保健医療部	2	地域医療課	1	切れ目のない医療と介護の連携について
		生活衛生課	1	避難先へのペットの同行について
環境経済部	3	環境政策課	1	観測所等との連携について
		資源循環推進課	1	他都道府県からのゴミ受入れの事業化について
		経済振興課	1	外資系ホテルの誘致等について
建設部	4	道路総務課	3	道路標識の再整備について（くらし安心課と重複該当） 植え込みへのベンチ設置について 横断歩道と押しボタン信号の設置について
		河川課	1	洪水対策として春日部市「地下神殿」の調圧水槽のような大型貯水槽の設置について

都市整備部	9 都市計画課	7	市内各駅に高齢者・障がい者向けの椅子を設置することについて
			外環自動車道、東北自動車道の「ＩＣ」に「越谷」を追加することについて
			東武鉄道スペースシアの新越谷駅への停車について
			免許返納者への支援について
			花を活用したまちづくりについて
			東武鉄道スカイライナーの停車駅について
			コミュニティバスについて
	公園緑地課	2	市内公園へのバスケットゴールの設置について
			高架下を利用したドッグランの設置について
市立病院	1 庶務課	1	越谷市立病院の民営化、第三セクター化などについて
消防局	1 救急課	1	A E Dの設置箇所について
教育総務部	1 図書館	1	蔵書本の有効活用について
学校教育部	2 指導課	1	小中学校におけるプールの授業について
	教育センター	1	ヤングケアラーの支援について

36 件

(3) 第5次越谷市総合振興計画大綱別件数

越谷市が行うすべての施策や事業の根拠となる最上位の計画である「第5次越谷市総合振興計画」の6つのまちづくりの目標（大綱）に沿ってまとめました。

越谷市の将来像

「水と緑と太陽に恵まれた みんなが活躍する安全・安心・共生都市」

＜実現に向けた6つのまちづくりの目標＞	件数
1 多様な人が交流し、参加と協働により発展するまちづくり	6
2 みんなが健康で共生して住み続けられるまちづくり	9
3 都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり	11
4 持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり	4
5 魅力ある資源を活かし、都市の活力を創造するまちづくり	3
6 みんなが主体的に学び、生きがいを持って活躍できるまちづくり	2
計	35

(4) 提言集

<目標1 多様な人が交流し、参加と協働により発展するまちづくり>

6件

1. 公共交通を利用した広報について

神戸市へ出張で行った際、地下鉄内で学生向けのチラシが目に残りました。「神戸市内の高校に通学する際は、定期代が無料になる」というものでしたが、その政策がいいという訳ではなく、そのチラシを駅構内に掲示していることがいいなと思いました。若年層への広報の手段として、越谷市も公共交通機関への掲示を検討してはどうでしょうか。

<広報シティプロモーション課>

2. 最近の自治会の現状について

我々の住んでいる地域の自治会の多くは昭和43年頃から開発され移住組です。そこで高齢者の多い自治会は何点か問題があります。

1. 自治会の行事に人が集まらないこと
2. 高齢を理由に役員を辞退すること
3. 年末の募金等の疑問

どの自治会も高齢化になり自治会が援助を受ける側に近い状況にあると思います。高度成長期に決めたままのやり方で良いとは思いません。自治会を合併するとか、防災に特化した自治会にして若い世代の執行役員になっていただき地域を引っ張っていただきたいと思います。募金のあり方、高齢の対応、防災体制のあり方等、市のご指導対応をお願いいたします。

<市民活動支援課>

3. ウッドデッキの飛び出し注意について

エントランス棟コンビニからウッドデッキに子どもが飛び出し、車に轢かれそうになったのを見かけた。北側入口から侵入する車両は植さいと階段で死角となり視認しづらい。そのため、車両に対し徐行の義務付けや注意看板の設置、そして歩行者横断歩道の手前に凸凹の障害を設け強制的に車両を減速させる等の対策が必要と感じた。

<庁舎管理課>

4. 職員の逮捕について

職員の逮捕について大変遺憾ではありますが、現時点で市長、幹部職員がすべきことは、職員が安心して働くことができるよう部下に宣言することである。その上で、今回のような公共の福祉に反する行為は厳罰に処すことを周知してください。

<人事課>

5. 職員の逮捕について2

職員の逮捕を受け、職員へのコンプライアンス教育など取り組みがされている最中であると推察しますが、現状の進捗を市民へ広報を通じて発信していただきたいと思います。もう一度、公共の福祉を担う公務員の使命を職員へ徹底させてください。

<人事課>

6. 職員の逮捕について3

2000 人程しかいない市職員から、昨年に続き盗撮で逮捕者が出たことは大変遺憾です。組織のガバナンス機能不全としか考えられません。

職員へのコンプライアンス教育を実施したはずですが、やっただけで満足せず、市長をはじめ、管理者は継続して管理・監督を行い職員に行動規範を遵守させてください。

<人事課>

<目標2 みんなが健康で共生して住み続けられるまちづくり>

9件

7. 越谷市立病院の民営化、第三セクター化などについて

越谷市立病院の財務状況を把握していませんが、あれだけの用地と設備があるのだから、大手優良大学病院との連携により、民営化・第3セクター化などを検討してはどうか。海外の大学病院との連携でもいいと思う。

<庶務課>

8. 市内各駅に高齢者・障がい者向けの椅子を設置することについて

越谷市の人口構成では、私の記憶だと65歳以上の高齢者が約4分の1を占めていたかと思います。そのような状況の中、まちづくりの基本理念に反し、市内各駅のプラットホームに椅子が圧倒的に少ないと感じている。越谷市が高齢者や障がい者向けの椅子を各駅に提供するとともに、その活動をテレビで取り上げてもらい、全国にアピールできるような活動をしてはどうか。

<都市計画課>

9. 「児童発達支援センターぐんぐん」のあり方について

ぐんぐんは知的・発達障害、身体障害をもつ未就学児が通う市の通所施設ですが、週に2回の「親子通園」が義務となっており、フルタイムに近い共働きの場合、通わせるのが難しいです。

「ぐんぐんは保育園ではなくあくまで親子で行う療育施設です」という趣旨は分かりますが、「広く平等にいきわたる市の福祉サービス」としてはハードルが高く、親の負担が大きすぎるように思います。現代の子育て世帯はほとんどが共働きなので、特定の「時間を工面できる人」しか利用できないとなると、市の福祉サービスとしては疑問です。

また、子供が給食の何割かを残すと親が迎えにこなければならぬというルールも時代錯誤を感じますし現代においてコンプラ上問題があると思います。

「児童発達支援センターぐんぐん」について、親の負担が大きく通わせるのにハードルが高いことや、またルールもなにかと厳しいために諦めてしまう親が多いことから、市としてのあり方について再度検討・議論していただきたいと思います。草加市の「あおば学園」をモデルに再構築を考えていただきたいと思います。

<子ども福祉課>

10. 特別支援保育の枠について

特別支援保育の枠が少なすぎて現場で困っています。現状の「2 対 1」だけではなく、「3 対 1」と「1 対 1」でも人員配置できるよう、また、加配枠自体の拡大も検討してください。早期に診断されることが多くなった昨今、これまでの体制のままでは安全な保育をしているのは難しいです。

知的障害者や発達障害は出生前には発見できないので防ぎようがないです。出生後に診断・判明してからでも安心して暮らしていけるように、保育の面でサポートの拡大をお願いします。

若くてこれから出産する世代にも、もし我が子がそのように生まれても安心して保育できるよと認知していただかないと、産み控えが加速すると思います。抜本的に人員配置・予算の見直しをお願いいたします。

＜保育入所課＞

11. 「レイクタウン界限」と称する居場所のない子ども達について

家庭や学校に居場所のない子供たちが新宿東宝ビル横で一晩中たむろする、いわゆる「トー横キッズ」。昨今、排除しようとする規制が入り、居場所を追われた子ども（キッズ）たちが、ここから派生し、次第に全国に広がっているという。

埼玉県では大宮「大宮界限」、越谷「レイクタウン界限」と称し、同じ境遇の子どもたちが集まっている。こういった子どもたちを狙う大人がいるのも事実である。危険な事件に巻き込まれる可能性もあることから、市として何かしらの対策を取るべきだと思います。

＜青少年課＞

12. 少子化対策について

厚生労働省から 2024 年の年間出生者数が 70 万人を下回る予想が出ておりました。越谷市でも同様に 0 才、1 才児の人数が毎月減少しており、大変危機感を持っています。出産可能な夫婦世帯が減る、ライフスタイルの変化、物価高、実質賃金減少等では説明がつかない部分があり、高齢世帯比率の高い地方自治体ではさらに深刻な状況であると簡単に推測できます。

一方で流山市や印西市などは若い世代の人口流入と、子ども人口の増加が続いており、各種取組が奏功している自治体もあります。越谷市としても、今までの取り組みだけでは、不十分であり間に合わないことを認識し、さらなる対策を講ずるべきです。

＜子ども施策推進課＞

13. ヤングケアラーの支援について

昨今、ヤングケアラーの支援について話題に上がることが多くなっているが、当事者の子どもがなかなか支援を求めることができない。様々な家庭の問題にいち早く気付くことができるのは教育なのではと思うが、多忙な教育の業務を増やすことなく、支援が必要な子どもにつながるような取組みはできないのか。

＜教育センター＞

14. 切れ目のない医療と介護の連携について

越谷市在住である知人がくも膜下出血で倒れ救急搬送されたのが川口市の病院だった。一命を取り留めたが、遷延性意識障害（植物状態）となった。その後、受け入れてくれる病院が越谷市になく、川口から山梨県、そして八潮市と転院が続いている。病人や高齢者でも誰もが住み慣れた地域で、その人らしい生活を送ることが出来ないのだろうか。また、遠距離の介護も御家族の大きな負担となっている。

切れ目のない医療と介護の連携を目指してと題した冊子もでているようだが、現実どのような状況にあるのだろうか。 <地域医療課>

15. 介護職員の人材確保と処遇改善について

介護現場では慢性的な人材不足に陥っている。こうした状況は、介護職員の賃金が全産業平均と比べ低いことも要因の一つと考えられる。市でも介護フェスタ等で人材確保事業に取り組んでいるが、今後は多様な人材の確保、育成、介護職の魅力の発信、そして報酬の見直しも必要なのではないか。 <介護保険課>

<目標3 都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり>

11件

16. 免許返納者への支援について

高齢ドライバーの免許返納が求められているが、高齢者が免許を返納するには、交通手段の確保が前提になると思う。バス路線の通っていない交通空白の地域においては、車がないと通院も買い物もできないのが現状である。

バスを利用できない交通弱者の高齢者に対する公共交通の支援について、市の考えを周知してほしい。また、市立病院等の主要施設を巡るコミュニティバス等の運行を検討してほしい。 <都市計画課>

17. 市内公園へのバスケットゴールの設置について

自身の子どもがミニバスをやっていることもあり、バスケットボールに対する関心が湧いてきた。また、越谷アルファーズのB1昇格など、市内でもバスケットボールに対する盛り上がりが顕著であると感じている。

このような状況の中、市内の公園に少しでも多くのバスケットボールのゴールがあれば、昨今の人気に見合った利用が望めるのではないか。騒音等が懸念されるため、住宅地から離れた公園や砂地の場所にゴールを設置できないものか。私の知る限り、千間台の公園でしか見たことがなく、草加市やさいたま市では、もっと多くの公園で見かけた。正式なコートまで整備しなくとも、ゴールだけあれば3on3ができるため、気軽に利用できると思う。

なお、ゴール設置の際は、アルファーズの選手やロゴをデザインに入れれば、より地域密着感が出ていいと思う。 <公園緑地課>

18. 外環自動車道、東北自動車道の「IC」に「越谷」を追加することについて

外環の草加 IC を、「草加・越谷 IC」に名称を変更する交渉を NEXCO 東日本にしてみてもどうか。開通から時間が経過して草加 IC が定着しているものの、トライの価値はあると思う。それと併せ、東北道の浦和 IC を「浦和・越谷 IC」へ変更は難しいでしょうか。ネームバリューアップの為に交渉してほしい。

＜都市計画課＞

19. 東武鉄道スペースの新越谷駅への停車について

東武鉄道のスペースなど、通勤時間を外して観光客用に新越谷駅にも停車させてほしい。1～2分の停車であれば可能だと思う。春日部駅より、JR 武蔵野線への乗り換えができる新越谷駅の利便性を強調するべき。また、夜10時以降の浅草駅発の下り特急は、平常時ガラガラであるため、専用特急券を発売して新越谷駅に停車させるべきだ。

＜都市計画課＞

20. 道路標識の再整備について

広報こしがや5月号にて、越谷市が令和5年度自転車死傷者数県内ワースト3位であることを知った。行政の立場として、安全・安心なまちを目指しているのであれば、道路標識の再整備が必要不可欠と考えます。自宅付近において、短期間で何度も事故が発生し、一時停止の塗装を警察に依頼するも対応してもらえなかった。ワースト3返上の為にも、全国の市町村が視察に来るくらいの活動を行ってはどうか。

＜道路総務課、くらし安心課＞

21. 植え込みへのベンチ設置について

東京都の吉祥寺近辺を歩いていた際、歩道にある木の植え込みを囲うようにベンチが設置されていた。魅力的な資産価値の高い越谷市にするため、あのようなベンチを市内に設置してはどうか。

＜道路総務課＞

22. 花を活用したまちづくりについて

川口市の戸塚安行駅ロータリーに、フラワーポットが設置されていた。越谷市では、川と光と～というキャッチフレーズを使用してるが、花をアレンジするようなまちづくりはしていないように感じる。戸塚安行駅の写真を添付しますので、参考にしてください。

＜都市計画課＞

23. 東武鉄道スカイライナーの停車駅について

現在、東武鉄道スカイライナーの停車駅はせんげん台駅であるが、越谷市が近隣市と比較して公共交通面で優位なのは武蔵野線と交差する南越谷駅があることであり、市内の東武線の主要駅はその南越谷駅と交差する新越谷駅であると考えます。

そのため、東武鉄道のスカイツリーライナーの停車駅をせんげん台駅ではなく、新越谷駅に変更するべきである。

＜都市計画課＞

24. 高架下を利用したドッグランの設置について

登録制で管理がされているドッグランであれば有料でも利用者がいると思います。雨の日に散歩に困っている愛犬家が多いので、高架下等をうまく活用してはどうかと思います。

＜公園緑地課＞

25. 横断歩道と押しボタン信号の設置について

バス路線の「流通団地1丁目」バス停は朝の通勤時間帯に多くの乗降客がいます。乗車中にバスの直前から道路を横切る人が多く、バスを追い抜こうとした車がクラクションを鳴らすなど大変危険です。

近くにT字路交差点には横断歩道は無くバスを乗降した地点で道路横断をしています。T字路交差点に横断歩道と信号（押しボタン）を設置していただけるよう提言させていただきます。

＜道路総務課＞

26. コミュニティバスについて

草加市のパリポリくんバスは、周囲にバス路線がなかったりバスの本数が少ない等、交通利便性の低い地域の解消を主な目的として運行しているバスと聞く。ルートも多岐に渡り本数も多い。免許返納者数は増加しており、今後、高齢者等の移動手段の確保のため、パリポリくんのようなコミュニティバスも必要ではないか。

＜都市計画課＞

<目標4 持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり>

4件

27. 洪水対策として春日部市「地下神殿」の調圧水槽のような大型貯水槽の設置について

春日部市の地下神殿の調圧水槽ほど大きくなくとも、越谷市にも同様の貯水槽が必要だ
と思う。田畑の減作や小河川の埋設道路化によって遊水地がなくなり、年に1度～2度道
路冠水が発生しています。 <河川課>

28. 他都道府県からのゴミ受入れの事業化について

越谷市のゴミ焼却炉はダイオキシンを排出しない効率的な焼却炉と聞いている。阪神淡
路大震災の時には、瓦礫を受け入れたはずだが、能登半島地震の際は受け入れたのか。他
都道府県からゴミを受け入れる事を事業化してはどうか。 <資源循環推進課>

29. 避難先へのペットの同行について

災害時の避難先へのペット同行について、同行避難の詳しい内容やルール、ガイドライ
ンが必要ではないか。 <生活衛生課>

30. AEDの設置箇所について

AEDの設置について、身近な誰でもすぐにわかる場所にAEDがなければ、一分一秒
でも早く処置することができない。各自治会館玄関付近（屋外）に設置できないだろうか。
<救急課>

<目標5 魅力ある資源を活かし、都市の活力を創造するまちづくり>

3件

31. レイクタウン内にオーストラリア大使館や領事館を誘致することについて

레이크タウン開発発表当時、都心に存在する外国大使館を誘致することが含まれていま
した。恐らくうまくいかなかったのでしょう。しかし、キャンベルタウンとの姉妹都市4
0周年記念で、레이크タウンにオーストラリア大使館とか領事館に進出してもらう交渉を
してはどうか。人口減少に伴い、越谷市でも外国人の協力が必要になるのではないか。ま
た、医療・介護などで人材提供国になりうる候補国に大使館の越谷進出を要請してはどうか。
<市民活動支援課>

32. 観測所等との連携について

気象庁の観測所が、越谷市では健康福祉村辺りにあると聞いている。今年の夏は猛暑が
予見されますが、NHKの朝のニュースでは、越谷市が一番暑いなどという情報が放送されて
いる。

そのようなネガティブな情報が放送されるのであれば、それを活かして、（熊谷市のように）観測所の情報がLINEで市民に配信されるようなシステム構築や地球温暖化に警鐘を鳴らすような発信をしてはどうか。

＜環境政策課＞

33. 外資系ホテルの誘致等について

越谷市に徹底的にないものは、高級（それなりに格式のある）ホテル、それに付随したレストランである。市の誘致として、レイクタウン近隣などに外資系ホテルを誘致してはどうか。（誘致できれば、新たなふるさと納税返礼品やホテル宿泊を利用した人間ドッグなどに繋がるかもしれない。）

＜経済振興課＞

34. 蔵書本の有効活用について

昨今、全国的に経営難により書店が閉店となる現象があります。書店でゆっくりと文章を味わい、自分が望む本を選ぶ喜びは書店でなくては味わえない貴重な経験であると思います。我が家でも、個人では入手できないであろう貴重な本等が、約2万冊あります。友人からは、高価な医学書等の譲り先がなく、処分してしまったという声も多く聞きます。中古本屋は、流行本は買い取っても、需要がない本は買い取りしてくれない現状があります。

そこで提案です。市内の空き店舗や空き家を利用し、学生や専門書を必要とする人、読書家を対象とした回収、再利用できる場（古本屋）を設けるのはどうか。そのような場があれば様々な観点から本を有効活用できると考えます。

また、そのような場所さえあれば、真に本を愛する人々のボランティア運用も可能だと思います。

<図書館>

35. 小中学校におけるプールの授業について

越谷市立小中学校のプールの老朽化や維持管理が困難になっていると聞きました。近年、天候の影響でプールに入れる日が少ないため、泳力・泳法についての満足な指導は難しいかと思います。

一方で、水辺の事故は多くありますので、民間のスイミングスクールを利用し、インストラクターによる安全指導や着衣泳法、救助方法等の体験をしてみるのも良いのではないかと思います。特に着衣で水に入る機会はなかなか無いので、毎年1回でも体験すれば身をもって学べるかと思います。

スイミングスクールであれば、冬でも行えるというのも利点かと思います。

<指導課>

令和6年度（2024年度）
越谷市市政モニター活動報告

発行：令和7年12月
越谷市市民協働部くらし安心課
〒343-8501
埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
TEL 048-963-9336
